

# つる性植物模したカーテン

## 山越の「ガーデンカーテン」

省エネ・節電効果が期待できる、つる性植物を模した布製カーテン「ガーデンカーテン」。

合織メーカーの発売元が、つる性植物で窓を覆う「緑のカーテン」を人工物で再現した布製カーテンを開発。ブドウの葉を模した葉っぱ（ポリエステル製）を、緑色のネットの全面に結束させたもので、窓の外側に取り付けると目隠しになり、直射日光や熱を遮り、見た目にも涼しさを感じることができる。規格品は横幅90㎝×高さ220㎝。取り付け用のアルミレールを付属し、1枚1万2800円。主にカタログ通販。

本物のヘチマやゴーヤと違って水やりの手間がいらず、虫がわく心配もない。窓や天井への専用レールの取り付けは、粘着テープを利用する



ため女性でも簡単。この専用レールによって通常のカーテンのように開閉できるのも売り物だ。初年度5000枚以上の販売を目標にしている。

発売元は山越（さんえつ＝石川県かほく市、078・904・6038）。

## この一品

### 〈担当者から〉

昨年、大阪市の高層マンションの一室に事務所を開設したが、たまたま入った部屋の西日がきつく、これを何とかしたいと考えたのがそもものきっかけ。

つる性植物を模したカーテンは市場にも例がないはず。窓の外で使う目隠し兼用の日よけシートと違って、外の様子がよくわかり、風も適度に取り込める。最大の特長である遮熱効果も、室内に掛けた通常のレースカーテンと比べ6倍高いことがわかった。また、本物のヘチマなどのように、\*本漏れ日。によってリラックス効果が期待できるのも売り物のひとつ。節電が求められるこの夏、ぜひご利用いただきたい。

(社長の山中友希さん)